

だい かい
第12回

にほんご

日本語

スピーチコンテスト

つたえることば
つたわるきもち
つながるよろこび



2017年2月19日（日）イーグレひめじ3階あいめっせホールにて、第12回日本語スピーチコンテストを開催しました。ベトナム、中国、インドネシア、ニュージーランドの4ヶ国出身の16名が個性豊かなスピーチを披露しました。



金賞に輝いたのは、「ハンカチの文化」というスピーチを発表したベトナム出身の会社員ゴー ティ ハインさんです。「自国にはハンカチを使う習慣がない。日本に来たときに男性もハンカチを使っていることに驚いたが、経済的で環境にも優しい。女の涙に弱い男性をだますのに使う友人もいる。」とジェスチャーを交えながら語り、会場の笑いを誘いました。

銀賞に選ばれたのは、「まるでどこでもドア」というスピーチを発表したディン ティ トウ チャンさんです。「日本のコンビニは何でもできて便利だが、少しさみしい。母国ベトナムも日本ようになってしまうのか心配」とコンビニの店員の真似を交えて表現しました。



銅賞は、「自分なりに社会に力を捧げよう」というスピーチを発表した中国出身の大学生、郭婉婷さんです。「社会で困った人に手を差し伸べ、みんなで協力すれば奇跡が起こせるかもしれない。誰かが困っているとき、自分なりに社会に力を捧げよう」と力強く呼びかけました。



観客の投票で選ばれるオーディエンス賞には、「ゆめ」というスピーチのインドネシア出身高校生、ガブリエラ ローサ テオファニさんが選ばれました。「幼いころの夢が叶って、日本に留学することができた。将来の夢は小児科医になること。どんなに困難でも、志あるところに道は開くと信じて頑張りたい。」と歌も披露しながら発表しました。



審査の間には、民謡集団「鯨」さんによる和太鼓のパフォーマンスがあり、会場が震えるほどの大迫力のステージに圧倒されました。

満員となった会場のみなさんからは、「発表者のスピーチに心が打たれた。」「普段気付かない日本の良さに気付かされた。」などの感想や、「夢の実現に向かって頑張ってください。」「日本での生活を楽しんで！」などのメッセージが寄せられました。



日本語スピーチコンテストは、在住外国人に日本語学習の成果や自分の気持ちや考えを発表する場を提供するとともに、市民の皆さんに多文化共生社会について考えるきっかけを提供することを目的に年に一度、2月ごろに開催しています。運営には、日本語学習支援団体「日本語ひろば」のボランティアさんの全面的な協力が欠かせません。日本語ひろばボランティアさんをはじめ、地域の日本語教室の方々、各学校の先生方に深い感謝とお礼を申し上げます。今後もますます充実したコンテストを目指します。次回もぜひ会場へお越しください！

